



平成30年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年5月11日

上場会社名 コムシード株式会社

上場取引所 名

コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽成 正己

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫

TEL 03-5289-3114

定時株主総会開催予定日 平成30年6月26日

有価証券報告書提出予定日 平成30年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	1,514	2.2	27	39.4	23	42.8	47	
29年3月期	1,547	28.6	44	2.6	40	4.9	30	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	8.40		6.8	2.1	1.8
29年3月期	5.81	5.70	5.0	4.2	2.9

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 百万円 29年3月期 百万円

(注)30年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	1,104	706	63.9	123.04
29年3月期	1,181	703	59.6	125.59

(参考) 自己資本 30年3月期 705百万円 29年3月期 703百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	52	55	5	698
29年3月期	148	29	318	695

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期		0.00		0.00	0.00			
30年3月期		0.00		0.00	0.00			
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	5.7	60	121.8	58	148.1	45		7.84

注)年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3'1.経営成績等の概況(3)今後の見通しをご覧ください。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期	5,737,264 株	29年3月期	5,602,129 株
期末自己株式数	30年3月期	株	29年3月期	株
期中平均株式数	30年3月期	5,671,732 株	29年3月期	5,265,891 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は平成30年5月11日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、全体的に緩やかに回復基調ではあるものの、欧米の政策動向等を受けた海外経済の不確実性など、依然として先行きに対する不透明感が続いております。このような状況の中、国内のモバイルゲームアプリの市場動向としては、スマートフォンの急速な普及と若年層を中心とする利用時間の増加に支えられ、また、SNSの普及とあわせて、10代から50代までの各世代でモバイルゲームを楽しむ層が一定の割合で存在していること等から※、今後も安定した成長が見込まれます。（※参考：「情報通信白書平成29年版」）

当社におきましては、引き続きスマートフォン向けコンテンツビジネスのさらなる成長およびシェアの拡大を図るべく、経営資源をモバイル事業に集中し、既存サービスの拡充および新規サービスの開発に注力してまいりました。

売上高は、主力事業であるソーシャルゲームは堅調に推移しました。さらに受託開発・運營業務も新規案件の獲得によって好調に推移しましたが、従量制アプリにおける配信本数削減等の影響をカバーするには至らず、全体としては前事業年度をやや下回りました。

利益面につきましては、著作権料の契約見直し等によって売上原価が前年同期比で抑制された一方、当期にスタートした新規ゲームアプリ2本の広告宣伝費や人件費の増加等により、営業利益、経常利益はともに前事業年度を下回ることとなりました。また、不採算事業の整理等による特別損失を計上したことで、最終損益での黒字を達成するには至りませんでした。

以上の結果、当事業年度の売上高は1,514,092千円（前年同期比2.2%減）、営業利益27,056千円（前年同期比39.4%減）、経常利益23,375千円（前年同期比42.8%減）、当期純損失47,664千円（前年同期は当期純利益30,610千円）となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

① ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール『グリパチ』が会員数400万人を突破するとともに過去最高のアクティブユーザー数を記録するなど堅調に推移しました。また、本年度に開始した「遙かなる異郷グランヴィリア」については、広告宣伝等各種費用を当初より投下してまいりましたが、売上が伸び悩んだため、早期にサービスを終了させ経営資源を新規タイトル他の事業に集中させております。一方、新規サービスとして、スマートフォンゲーム「I LOVE バーガー」の正式サービスを9月に開始いたしました。こちらについては運営半年を経て、当社アプリの中でも特に高い継続率を保持しておりますが、当期においては拡大フェーズと位置づけ、当初運営においては慎重に投資を行ったため、広告宣伝の本格化が第3四半期からとなっており、本格的な売上寄与は翌年度を見込んでおります。以上の結果、ソーシャルゲーム全体の売上は対前期比0.6%の減少となりました。

② 従量制アプリについては、当期より方針を転換し、利益重視のタイトル選定と開発・運用を行ったことによりリリースタイトル自体が減少した影響で、売上高も前年同期と比べて減少しております。以上の結果、従量制アプリは対前期比24.9%の減少となりました。

③ その他、安定的な収益基盤の確保に向けた受託開発および運營業務が、新たな収益の柱として堅実な成長を見せております。以上の結果、受託開発・BtoB事業に関しては売上高が対前期比27.4%の増加となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当事業年度における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当事業年度末における資産は77,082千円減少し、1,104,097千円（前事業年度末比6.5%減）となりました。

これは主に、受取手形8,000千円、前払費用7,085千円、ソフトウェア21,118千円、長期前払費用4,471千円の増加と、売掛金39,340千円、前渡金26,510千円、ソフトウェア仮勘定52,852千円が減少したことによるものです。

(負債)

当事業年度末における負債は80,270千円減少し、397,118千円（前事業年度末比16.8%減）となりました。

これは主に、短期借入金40,180千円の増加と、買掛金34,785千円、転換社債型新株予約権付社債50,000千円、長期借入金39,324千円が減少したことによるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産は3,187千円増加し、706,978千円（前事業年度末比0.5%増）となりました。

これは、主に第3回無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使による資本金25,000千円、資本剰余金25,000千円の増加と、当期純損失の計上による利益剰余金47,664千円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2,910千円増加し698,276千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果獲得した資金は52,984千円（前年同期は148,253千円の獲得）となりました。

これは主に、減価償却費29,248千円、減損損失67,552千円、売上債権の減少29,180千円、その他流動資産の減少26,134千円の資金増加と、税引前当期純損失45,306千円、仕入債務の減少34,785千円、前払費用の増加7,226千円、長期前払費用の増加9,870千円の資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は55,298千円（前年同期は29,267千円の使用）となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出57,503千円の資金減少によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果獲得した資金は5,225千円（前年同期は318,982千円の獲得）となりました。

これは主に、短期借入による収入115,000千円の資金増加と、短期借入金の返済による支出74,820千円、長期借入金の返済による支出36,047千円の資金減少によるものです。

(3) 今後の見通し

当社は、ソーシャルゲーム『グリパチ』に加え、安定した収益が見込める受託事業を軸に、収益基盤を維持してまいります。そのうえで、当社が中長期的な成長を目指すには、『グリパチ』に続くコアタイトルの育成と収益源の多様化が重要となるため、新規タイトルの育成、国内外ゲームタイトルのパブリッシング展開および非ゲーム領域とのコラボレーションへの挑戦等、新たな事業開拓を継続し、事業拡大を目指してまいります。

なお、当社業績は著作権を持つ取引先の状況や、パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリについては実機の許認可の状況に左右される場合があり、収益を計上する時期等が当初の計画と異なり当社の業績も短期的に大きく変動することも想定されることから、平成31年3月期の業績見通しにつきましては、通期業績のみを開示しております。

以上により、平成31年3月期の通期業績につきましては、売上高は1,600百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益60百万円（前年同期比121.8%増）、経常利益58百万円（前年同期比148.1%増）、当期純利益45百万円（前年同期は当期純損失47百万円）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	695,366	698,276
受取手形	20,500	28,500
売掛金	247,536	208,196
仕掛品	1,971	2,236
原材料及び貯蔵品	1,884	1,548
前渡金	32,569	6,058
前払費用	23,907	30,992
繰延税金資産	8,239	4,045
その他	1,405	1,786
流動資産合計	1,033,380	981,641
固定資産		
有形固定資産		
建物	16,406	16,617
減価償却累計額	△11,097	△12,053
建物（純額）	5,308	4,563
工具、器具及び備品	41,427	40,160
減価償却累計額	△36,131	△35,998
工具、器具及び備品（純額）	5,296	4,161
有形固定資産合計	10,605	8,725
無形固定資産		
電話加入権	448	448
ソフトウェア	18,318	39,437
ソフトウェア仮勘定	52,852	-
無形固定資産合計	71,619	39,885
投資その他の資産		
出資金	10	20
差入保証金	21,610	21,266
長期前払費用	-	4,471
繰延税金資産	43,954	48,087
投資その他の資産合計	65,574	73,845
固定資産合計	147,799	122,455
資産合計	1,181,179	1,104,097

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	193,118	158,332
短期借入金	41,320	81,500
1年内返済予定の長期借入金	36,047	39,324
未払金	15,965	21,538
未払費用	3,336	7,147
未払法人税等	6,840	5,553
未払消費税等	12,243	3,867
前受金	15,984	20,262
預り金	10,543	6,107
事業整理損失引当金	-	1,370
流動負債合計	335,398	345,004
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	50,000	-
長期借入金	62,626	23,302
退職給付引当金	10,167	9,615
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
固定負債合計	141,990	52,114
負債合計	477,389	397,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	859,926	884,926
資本剰余金		
資本準備金	291,035	316,035
資本剰余金合計	291,035	316,035
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△447,410	△495,074
利益剰余金合計	△447,410	△495,074
株主資本合計	703,550	705,886
新株予約権	240	1,092
純資産合計	703,790	706,978
負債純資産合計	1,181,179	1,104,097

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	1,547,936	1,514,092
売上原価	1,107,566	1,041,452
売上総利益	440,370	472,640
販売費及び一般管理費	395,704	445,583
営業利益	44,665	27,056
営業外収益		
受取利息	22	37
業務受託料	2,000	494
その他	5	75
営業外収益合計	2,027	606
営業外費用		
支払利息	1,201	1,864
社債利息	670	243
支払手数料	424	2,180
社債発行費	3,498	-
営業外費用合計	5,795	4,288
経常利益	40,898	23,375
特別利益		
知的財産権譲渡益	31,461	-
新株予約権戻入益	-	240
特別利益合計	31,461	240
特別損失		
減損損失	45,053	67,552
事業整理損失引当金繰入額	-	1,370
特別損失合計	45,053	68,922
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	27,307	△45,306
法人税、住民税及び事業税	4,150	2,295
法人税等調整額	△7,454	61
法人税等合計	△3,303	2,357
当期純利益又は当期純損失(△)	30,610	△47,664

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		91,493	8.3	103,365	9.9
II 外注費		233,116	21.0	216,470	20.8
III 経費		776,146	70.1	721,881	60.3
当期総製造費用		1,100,756	99.4	1,041,717	100.0
期首仕掛品棚卸高		7,978		1,971	
計		1,108,735		1,043,689	
期末仕掛品棚卸高		1,971		2,236	
当期製造原価		1,106,763	99.9	1,041,452	100.0
期首商品棚卸高		1,499		-	
計		1,108,262		1,041,452	
他勘定振替高		695		-	
当期売上原価		1,107,566	100	1,041,452	100

(注) 原価計算の方法
個別原価法によっております。

※1. 経費のうち主なものは次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
著作権料 (千円)	407,098	335,344
システム利用料 (千円)	162,695	156,872
情報使用料 (千円)	115,323	78,242
通信費 (千円)	25,996	26,276
減価償却費 (千円)	18,212	27,667

※2. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
貯蔵品 (千円)	695	-

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	784,452	215,561	215,561	△478,021	△478,021	521,992
当期変動額						
新株の発行（新株予約権の行使）	50,473	50,473	50,473		-	100,947
転換社債型新株予約権付社債の転換	25,000	25,000	25,000		-	50,000
当期純利益			-	30,610	30,610	30,610
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）			-		-	-
当期変動額合計	75,473	75,473	75,473	30,610	30,610	181,558
当期末残高	859,926	291,035	291,035	△447,410	△447,410	703,550

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	2,035	524,027
当期変動額		
新株の発行（新株予約権の行使）		100,947
転換社債型新株予約権付社債の転換		50,000
当期純利益		30,610
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	△1,795	△1,795
当期変動額合計	△1,795	179,762
当期末残高	240	703,790

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	859,926	291,035	291,035	△447,410	△447,410	703,550
当期変動額						
転換社債型新株予約権付社債の転換	25,000	25,000	25,000		-	50,000
当期純損失（△）			-	△47,664	△47,664	△47,664
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）			-		-	-
当期変動額合計	25,000	25,000	25,000	△47,664	△47,664	2,335
当期末残高	884,926	316,035	316,035	△495,074	△495,074	705,886

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	240	703,790
当期変動額		
転換社債型新株予約権付社債の転換		50,000
当期純損失（△）		△47,664
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	852	852
当期変動額合計	852	3,187
当期末残高	1,092	706,978

（4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	当事業年度 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	27,307	△45,306
減価償却費	21,254	29,248
減損損失	45,053	67,552
事業整理損失引当金の増減額（△は減少）	-	1,370
知的財産権譲渡益	△31,461	-
新株予約権戻入益	-	△240
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△102	△552
受取利息及び受取配当金	△22	△37
支払利息	1,872	2,108
社債発行費	3,498	-
売上債権の増減額（△は増加）	△18,679	29,180
たな卸資産の増減額（△は増加）	7,683	70
仕入債務の増減額（△は減少）	73,061	△34,785
その他の流動資産の増減額（△は増加）	16,966	26,134
前払費用の増減額（△は増加）	7,584	△7,226
長期前払費用の増減額（△は増加）	549	△9,870
その他の流動負債の増減額（△は減少）	738	598
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△2,427	-
小計	152,876	58,244
利息及び配当金の受取額	22	37
利息の支払額	△2,014	△1,967
法人税等の支払額	△3,168	△3,330
法人税等の還付額	537	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,253	52,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△211
無形固定資産の取得による支出	△68,819	△57,503
出資金の払込による支出	△10	△10
敷金の回収による収入	-	266
知的財産権の譲渡による収入	31,461	-
その他の収入	8,100	2,160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,267	△55,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	110,000	115,000
短期借入金の返済による支出	△68,680	△74,820
長期借入れによる収入	110,000	-
長期借入金の返済による支出	△27,991	△36,047
新株予約権の行使による株式の発行による収入	100,270	-
新株予約権付社債の発行による収入	96,501	-
新株予約権の発行による収入	677	1,092
新株予約権の買入消却による支出	△1,795	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	318,982	5,225
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	437,968	2,910
現金及び現金同等物の期首残高	257,397	695,366
現金及び現金同等物の期末残高	695,366	698,276

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

当社は、モバイルデバイス向けにインターネットを通じてユーザーにコンテンツの提供や情報の配信を行うモバイル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

当社は、モバイルデバイス向けにインターネットを通じてユーザーにコンテンツの提供や情報の配信を行うモバイル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	125.59円	123.04円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	5.81円	△8.40円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	5.70円	—円

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	30,610	△47,664
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	30,610	△47,664
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,265,891	5,671,732
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額 (千円)	463	—
普通株式増加数 (株)	181,099	—
(うち新株予約権 (株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第3回新株予約権 (新株予約権の目的となる株式の数120,000株)	

(注) 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。